

「農業の衰退止めたい」～利益の出る農業を目指して～

「キツイ、汚いといった農業のイメージを打ち崩し、楽しくやりがいのあるというイメージを広めて地域農業の衰退を止めたい」

色麻町志津地区で乳牛の飼育と生乳の生産販売を行っている(株)MHファーム代表の早坂^{あつし}睦さんは抱負を語る。

同社は平成29年12月に設立。若い従業員も多く、職場は活気に満ちあふれている。

同社はコロナ禍やウクライナ情勢、円安の影響による輸入飼料の高騰を受け、減反面積を活用して自給飼料を生産している。令和5年度はWCS(ホールクロップサイレージ)を約80畝まで拡大し、2500ロールを収穫した。また、家畜糞尿から堆肥を作り、牧草地へ還元する循環型農業にも取り組み、輸入肥料に頼らない生産体制の確立に力を入れている。

早坂さんは今後の展望について「農業は担い手不足でこのままでは衰退していく。利益の出る農業を目指せるような仕組みを作り、農業を少しでも救えるよう尽力したい」と語る。

早坂睦さん



WCSの収穫風景



【記事提供】色麻町農業委員会